

啄木ゆかりのカルタ寺

本行寺の門信徒会報

— また道・ゆく道 —

第85号

2025年8月1日



ホームページ

本行寺門信徒会 鋸路市弥生2丁目 TEL 41-5329
<https://hongyouji946.com/>
 E-mail hongyouji@poppy.ocn.ne.jp

— 本行寺ホームページより —



これからお寺の法要や行事の案内、お寺の日常など身近な情報も発信していきますので、ぜひご覧いただければと思います!!

合掌

今年3月、本行寺本堂・旧納骨堂が国の有形文化財に正式登録されました。この登録を機に本行寺公式ホームページを作成いたしました。

また、それに併せてインスタグラム・フェイスブックのアカウントも作成させていただきました。ご門徒の方々のみならず沢山の方々、そして幅広い世代に本行寺を知つてもらいたいという思いで作らせていただきました。



本行寺 住職 顯史 菅原

ホームページが誕生しました。

ごあいさつ



会长
顯治
寺徒会
本門種市

今年の総会で会長に再任させられました。ご門徒の皆様にご迷惑をかけないよ

うにつとめますので、どうぞよろしくお願いいたします。
すでにご承知のことと思いますが、三月に本堂と旧納骨堂の「国有形文化財」登録が官報に掲載されました。このことは、お寺にとつて喜ばしいことでもあります。これからは護持発展のために門徒の皆様とともに努力する所存であります。お力を貸しください。

この度、地域の方のご尽力で記念事業実行委員会を立ち上げ、記念事業として「詩劇 啄木アンソロジー in くしろの夜」の上演を本行寺本堂で十一月に開催する事になりました。詳細は後日案内いたします。
お寺に「啄木資料館」があること、お寺でおこなった「歌留多会」に啄木も参加されて居た事から、このような事業が企画されました。ご門徒の皆様にはぜひ観劇されますようお願いいた

します。
物価高、特に「米仙」に関わる問題で世間はにぎわっていますが、早期の解決を願うばかりです。
お盆、秋彼岸、報恩講とつづきますが、お寺にお参りにおいてになり、ご法話を聴聞する機会をつくり、仏さまの心に近づけるよう努力します。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

合掌

5月20日

釧路組仏教女性会連盟 創立50周年記念講演会

広報部 山本 悅也

釧路組宗師の講演を聴いて

—「和顔愛語」と「知恩報徳」—

このたび、釧路組仏教女性会連盟創立50周年記念講演会を聴く機会をいただき、感謝申し上げます。

釧路組宗師は、今回の法話で「和顔愛語」と「知恩報徳」の二つの四字熟語についてについてふれ、解説をしてくださいました。二つとも「無量寿經」というお経のなかに出てくる言葉です。

和顔愛語は、「和顔」は穏やかな顔、「愛語」はやさしい言葉を意味し、笑顔で愛情のこもった言葉で話すことです。この言葉は、学校での教訓

になつたり、額や書幅にも書かれたりしています。マリリン・モンローは「笑顔は最高のメイクである」と言つています。いつも笑顔で愛情のこもつた言葉で相手に接することが大切ですが、凡人にはなかなかできません。

次に、知恩報徳は、文字通り釈する恩を知り、徳に報いるということですが、親鸞聖人は、報いにはいらぬよな恩恵を他人や自然からたくさんいただいていることに気づかされること自体が大切だとおっしゃっています。現代社会では、人間関係が希薄になり、他人がどうなつても自分のことしか考えられない。科学的な見方や生き方こそ正しく、目に見えるもの

だけが真実だと思い込んでいます。心の底から「おかげさまで」と言える人間になりたいです。

釧路組宗師は、大阪池田市如来寺の住職で相愛大学の学長です。「維摩經」とらわれない、こだわらない」NHK出版 100分de名著など多数の書籍を出版されています。時間が許せば、池田小学校事件についてのお話しもお聞きできればよかつたです。ありがとうございます。とうございまし



行事・事業計画案

令和7・8年度 役員名簿					
会 副 会 長	種市 草島 相川	顯治 守之一義			
法 要 部 長	板 高野 高杉 今村	宗利 厚次 耕三 熱	大野 阿部	孝由 昌久	
財 務 部 長	中川 末永 濱 多賀	清広 勝美 容子 信雄	森谷	淳平	
企 画 部 長	大森 本間 野田	一道 弘人 光博	門信徒会	研修会	
会 報 部 長	水口 山本 両角 千島	吉朗 悅也 幹彦 保利	門信徒会	研修会	（釧路組研修部・仏壯部合同）
監 査	立浪 博勝 宮部 一枝				

令和8年						令和7年					
3月 20日	2月 4日	1月 1日	10月 15日	10月 16日	11月 15日	7月 30・31日	8月 15・16日	7月 10日	6月 15日	4月 9日	4月 16日
										定期総会 （常例法座終了後実施予定）	定期総会 （常例法座終了後実施予定）
										会報部会 (会報の件)	会報部会 (会報の件)
										役員会	役員会
										会計監査	会計監査
										初参式予定	初参式予定
										秋の彼岸法要	秋の彼岸法要
										キッズサンガ寺子屋子どもの集い	キッズサンガ寺子屋子どもの集い
										文化財登録記念・啄木関連イベント	文化財登録記念・啄木関連イベント
										報恩講準備（莊嚴・お磨き・清掃等）午後1時から	報恩講準備（莊厳・お磨き・清掃等）午後1時から
										宗祖報恩講法要・永代経法要（16日のみ修行予定）	宗祖報恩講法要・永代経法要（16日のみ修行予定）
										春の彼岸法要	春の彼岸法要

教化活動計画

☆仏教婦人会

毎月16日 午前11:00～12:00

☆仏教青年会

毎月 1回

☆仏教壮年会

毎月 1回

☆藤花会 每月 1回

☆光寿会

毎月15日 午後12:00～13:00

☆常例法座

毎月15日 午後12:50～13:40

毎月16日 午後12:50～13:40

☆おあさじまいり

毎月16日 あさ 7:00～

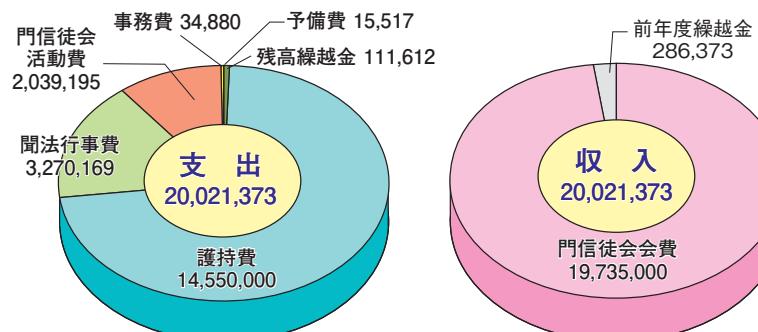
☆日曜礼拝

第3日曜日

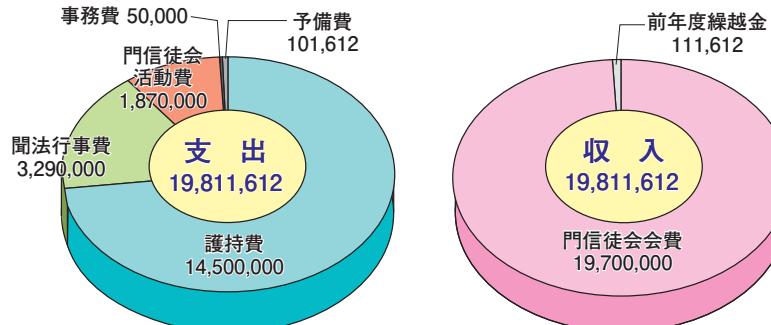
あさ 9:00～10:00

本行寺門信徒会会計 (単位 円)

【令和6年度決算】総額 20,021,373円



【令和7年度予算】総額 19,811,612円





国有形文化財登録 伝達式

令和7年7月1日

七月一日、本行寺本堂において、鶴間釧路市長から
国有形文化財登録証を伝達いただきました。

鶴間市長はじめ、岡部教育長、秋葉博物館館長のご
臨席を賜り、本行寺からは総代の皆様のご出席をいた
だきました。

釧路では二例目、寺社仏閣としては史上初めての登
録となります。大変な栄誉であり、あらためて文化財
に登録された重みをひしひしと感じております。

住職 菅原 顯史

ご門徒の皆様にはご案内したとおり、このたび境内に樹木葬を建立
いたしました。

近年は、納骨堂じまいや墓じまいをされて永代供養をされる方が多
くなっています。さらには納骨堂から市内の墓地や近隣町村の
墓地に移し樹木葬に改葬される方も増えてまいりました。

それらをされる方の多くは、「後を継ぐ者がいない」、「納骨堂や墓
を護るものがいない」、「釧路を離れる」これが主だった理由です。
お寺にも合葬所がありますが、多くの方が「永代供養」=遺骨を土に
帰す」というイメージのようです。そのため樹木葬を希望される方が
多くなっています。北海道ではまだ浸透しておりませんが、本州
では樹木葬が主流になりつつあります。

ご門徒様の中にはお寺にあれば良いのに……という声を多く聞いて
まいりました。「せつかく長年お世話
になつてきたお寺から離れるのは申し
訳ない」などの声もあり、何とかご
縁を繋ぐ方法はないかと総代さんから
もご意見を頂戴し協議させていただき
た結果、樹木葬を境内地で行うとい
うことになりました。

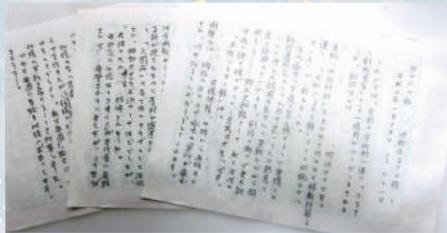
この樹木葬は本行寺ご門徒以外の方
も利用でき、またペットも一緒に入る
ことが可能です。今まで市内にはな
かつた画期的な樹木葬となります。
是非、お寺にお参りの際は「本行寺花
樂苑」にお立ち寄り下さい。

樹木葬「本行寺花樂苑」 開苑しました。





発行された『こんにちは』



式也住職直筆の原稿

なんとか校正を終えた第一集は二千部を出版し、ご門徒を中心に配布したものの、法

第五世 式也住職が耳から心へうつたえる布教方法として、先端機器を使った「テレホン法話」を始めたのは、昭和五十八年一月のことでした。

電話ヨイニシニ四二四にダイヤルすると式也住職の「ハイ、こんにちは！」の声で始まるテレホン法話は、いつでも、どこでも、誰でも聞く事ができる三分間の法話です。

一話は一週間（月～日）続き、その内容は仏教の教えに限らず、世間

の話題など多岐にわたり、誰にでもわかりやすく理解できるよう配慮されています。

このテレホン法話は式也住職がご往生される平成四年の五月まで続けられ、その数は四八九話にのぼります。

当初はこの法話を「本」として出版する考えはありませんでしたが、昭和六十一年に本行寺門信徒会が創立十五周年を迎えたことから、その記念事業として過去三年分の法話をまとめて出版することになりました。

二集、三集共に二千五百部を出版しましたが、すでに本行寺にも在庫がなく、今では入手困難な状況です。ご門徒の皆様には配布されておりましたが、すでに本行寺にも在庫がなく、今では入手困難な状況です。

ご門徒の皆様には配布されておりましたが、すでに本行寺にも在庫がなく、今では入手困難な状況です。ご門徒の皆様には配布されておりましたが、すでに本行寺にも在庫がなく、今では入手困難な状況です。

テレホン法話集 管原式也の『こんにちは』

—その27

「遍照十方」編集委員
福田昭南

踏まえて、式也住職の手書き原稿を、ご門徒の山元忠蔵さんがワープロで浄書して下さり、極めて効果的な編集作業を進める事ができました。特に第三集は、式也住職が平成四年十月にご往生されたことから、悲しみを抱えながらの作業となり、遺稿となつた二十一話を含め一七七話が収録されました。

類の寺院などから婦人会や法座のテキストにしたいとの注文もあり、最初はそれに応えていましたが、在庫もなくなり止むなくお断りすると希望者からは再版を望む声が多くありました。

第二集、第三集は、第一集の反省を



法話を録音するため早朝一人で



本行寺本堂・旧納骨堂
国有形文化財登録
記念事業

啄木の青春期から北海道漂泊時代 啄木の姿を描いた星光二氏の新作詩劇

詩劇「啄木アンソロジーin Kushiroの夜」
&記念講演「啄木と本行寺」
釧路啄木会会长 北畠 立朴氏

2025
11.23 日 SUN 13:30 START (開場13:00)



場所/本行寺本堂 釧路市弥生2-11-22 申込先/090-9524-9567 (事務局/中村)

入場無料
【要事前申込】

ました。これからヒントになると感じました。

合掌

「心の奥の声を聞く」を聴聞して
光寿会 板宗利

令和七年七月十日、本行寺にて門徒僧侶合同研修会が行われました。

御講師の武田正文師は、島根県高善寺のご住職であり、法務のかたわら学校や企業で心理療法士の経験を生かし、カウンセラーとして臨床に携わっておられます。

武田先生の講話の中で、最近話題のAI（人工知能）に触れられておりました。

それは、社会的貢献をするためにAIを活用し、より複雑になつてきている社会の変化を効率的に分析し、種々の問題を効果的に解決するためのツールにしようとお考えです。また、人間の仕事をAIに肩代わりさせて心の余裕をつくり、その時間でお寺に通つたり、文化的な事が見直されてくるというお話をありました。これからのヒントになると感じました。

佛教婦人会では毎月の例会、ご奉仕活動、法話会、日帰り旅行など様々な楽しい活動をしておりま

す。是非、一緒に楽しめませんか。お待ちしております。



令和七年五月二十日、本行寺本堂に於いて釧路組佛教女性会連盟の令和七年度総会並びに創立五十周年記念講演会が行われました。

佛教女性会連盟加盟寺院のご住職様、坊守様、各会員の皆様合わせて約七十名の方が参加されました。総会では私が今年度から連盟会長を仰せつかり二年間の任期を一生懸命に努めさせていただくとご挨拶させていただきました。

また、記念講演会では武藏野大学総長の釧路宗先生をお招きしてご講演をいたしました。著書も多く、出版やテレビ等でご活躍の釧路先生のご講演を有難く拝聴させていただきました。

「心の奥の声を聞く」を聴聞して

光寿会 板宗利

特別講演会



佛教婦人会

本行寺佛教婦人会会长 宮部一枝

今日一日 私は私 自分を汚してはならない
一年の計より 一日の行だと
私は私の心の書初めをする

本行寺第四世住職 菅原覺也著「粒々滴々」より

法味一言

◆お知らせ◆

◎宗祖報恩講法要◎

10月16日 木曜日
私たち門信徒には特に大切な行事です。御講師の貴重な法話を聴聞し、今後の生活にお役立て下さい。

◎国有形文化財登録記念事業◎

11月23日 日曜日

本堂、旧骨堂の文化財登録を記念して本行寺と関わりのある石川啄木の詩劇と記念講演を開催します。5ページ下をごらんください。

◎本行寺啄木資料館特別企画展◎

8月1日～12月29日

同じく文化財登録を記念して、啄木資料館にて特別展を開催します。啄木資料館オリジナルの啄木等身大パネルやのぼりの展示があります。記念のご朱印も販売しています。門徒の皆さんもそうでない方もぜひお立ち寄り下さい。



北海道教区 森谷 淳平

本行寺佛教青年会

**森谷淳平さんが
全国機関誌「まこと」に
掲載されました**

編集後記

①釧路出身。
祖父の葬儀がご縁。
ご住職がとても気にしてくださり、
お寺の行事に参加していくうちに、
青年会に関わるようになりました。

②釧路のホテルに勤務。
③凡夫の私が、この世の中に生きることを恥ずかしく思つていても、
阿弥陀さまが救うとはたらく
かけてくださつていてる
ということを知ることができました。

毎週、NHK大河ドラマ『べらぼう』を楽しみに見てています。吉原の花魁の衣装、浮世絵と戯作者、田沼意次などの時代背景などを探せばいろいろ見どころがあります。特に北海道（蝦夷地）との関係が興味深いものです。

蝦夷地の8代藩主、松前道廣が出てきます。「渡る世間は鬼ばかり」で子役だったえなりかずき君が演じています。道廣は「笑顔で人に火縄銃を向け、人が苦しんでいることに快感を覚える」悪い藩主です。和人とアイヌ民族の最後の戦い「クナシリ・メナシの戦い」（1789年）もこの時代に起きました。根室の納沙布岬に碑が建っています。道廣の実の弟、廣年（蠣崎波響）も出でています。有名な絵師で厚岸の首長イコトイも描いています。夷酋列像』は、当時の天皇の目に留まっています。

（広報部 山本悦也）